

**市民がつくる、未来のまえばし会議**  
～自分ごと化会議 in 前橋～  
**第1回 議事録**

主催：めぶくグラウンド株式会社

共催：一般社団法人構想日本

2023年11月26日(日) 9:00～12:00

## 目次

1. A 班議事錄 .....	2
2. B 班議事錄 .....	10
3. C 班議事錄 .....	14

## 1. A 班議事録

ファシリテーター：

前橋市からの説明を聞いて、どんなことを感じたかをお話していただきたい。

委員 1：

ごみと食事はすごく結びついている。残飯や食品ロスもあるし、スーパーでお惣菜などの食品を買ったらパックのごみが出る。ごみを減らすには、食事の支度をするときからごみ捨てることを考えていないとうまいかないので、難しい。食事に関わる人たち全員が、ごみをどう分別するか、どう捨てるかを考えなければいけないなと思った。

ファシリテーター：

学生の皆さんは、普段食事とごみについて何か考えていることはあるか。

委員 2：

パックを捨てるときは、汚れを洗ってから捨てている。

ファシリテーター：

現在はまだ女性が食事を作っていることが相対的に多いと思うが、主婦の皆さんはどうか。

委員 3：

料理をするとものすごい量のごみが出る。野菜くずなどもあるが、一番多いのはパック。分別はするけれども、分別できないものも出てくるし、調理の際のごみの量にはいつも驚く。

ファシリテーター：

分別の仕方がわからないときはどうしているか。

委員 4：

燃えるごみに入れてしまう。罪悪感があるので、見えないようにごみの中心にねじ込む。

ファシリテーター：

自分も、燃えるごみの日に、冷蔵庫の中の食べ物を捨てることがあるので、市からの説明の中で、残飯などがたくさん入ったごみ袋の写真を見て罪悪感を覚えた。皆さんはどうしているか。

委員 5 :

買うのをやめた。

委員 3 :

賞味期限を過ぎてしまうものは必ずある。

委員 4 :

ハムの賞味期限が過ぎたら、ハムとビニールに分けないでそのまま燃えるごみにねじ込んでしまう。

委員 6 :

冷蔵庫内の配置を工夫している。下のほうに賞味期限が迫っているもの、上のほうに賞味期限の長いものを置いている。

委員 7 :

肉を買ったら、何グラムかずつ、ラップに包んで全部冷凍している。

委員 3 :

定期的にチェックをしない限り、冷蔵庫の管理はなかなか難しい。忙しい方はその時間がないかもしれない。

委員 8 :

一人暮らしをしていて、自分の分だけを買って食べればいいので、その日に使い切れる分だけを買う。

ファシリテーター :

家族が多いと、例えば子供が帰ってきて冷蔵庫を開けて何もなかったら困る。でも、一人暮らしだったら、その日の分だけでいいかもしれない。

ファシリテーター :

少し話は変わるが、「自分ごと化」について面白い話がある。皆さんがスーパーで買い物をするとき、賞味期限を見て買うと思うが、商品はどこから取るか。

→ (委員) 奥から取る。

ファシリテーター :

自分の家の冷蔵庫だったら。

→ (委員) 手前から取る。

ファシリテーター：

つまり、スーパーの冷蔵庫は他人ごとだけど、自分の家の冷蔵庫は自分ごとになっている、という話。

ファシリテーター：

委員 9 さんは自己紹介で「私にとってのごみは落ち葉だ」と話されていたが、どのように捨てているか、どんなことが課題か、教えてほしい。

委員 9：

1 つの大木からは大量の落ち葉が出る。自宅の林の中もものすごい落ち葉の量になる。家庭ごみとして市の焼却場に持って行っているが、45L のゴミ袋で 1 回 10～20 袋ぐらいの膨大な量になる。一番楽なのは家で焼却することだけど、今は法律で許されないので、家庭ごみとして出している。

委員 4：

一方から見ればごみだけど、ある一方から見れば財産になる可能性もある。落ち葉を必要としている人を探せば、肥料にする目的などで買い取ってもらえるかもしれない。

委員 10：

その日に必要なものだけを買って生活するという話が出たが、両親が仕事をしていて、帰ってきてから夕飯を作ったり次の日の弁当の準備をしたりとなると、その日の分だけを買うのは大変なので、1 週間分をまとめて買い物している。その代わりに、2 週間に 1 回ぐらい、賞味期限が近いものだけでご飯を作って食べている。

ファシリテーター：

委員 11 さんは、妹さんのお世話をする中で「子どもってこんなごみも出すんだ」と思ったことはあるか。

委員 11：

おむつ以外に、食べこぼしもごみになる。昨日も妹が柿を床に落として、生ごみになってしまった。こういうところでもごみが増えるんだなと思った。

委員 12：

友達から勧められてコンポストをやっている。野菜を細かくして混ぜないといけないので面倒だけど、土ができること、その土を自然に返せることが私にとっては嬉しいのでやっている。ただ、夏は虫が湧いてしまうのが欠点。また、野菜以外にお肉を入れたこともあるが、土がだめになったのでやめた。

ファシリテーター：

面倒くさくても、一歩踏み込めば喜びに変わるという何かがあると、ごみの減量につながるかもしれない。

ファシリテーター：

委員 2 さんは、学校という公共の場に出たごみと、家のごみで扱い方に違いはあるか。学校では結構うるさく言われるから分別するけれど、家だと面倒くさいな、とか。

委員 2：

学校では、燃えるごみとペットボトルと缶ぐらいは分別して、袋にまとめてごみ置き場に置いておく。家庭のごみのことは家族に任せている。

ファシリテーター：

委員 5 さんはビルの管理をされているとのこと、事業ごみも扱っていると思うが、事業ごみはどんな感じか。

委員 5：

分別はそれぞれの現場でしているが、時々入れてはいけないものや汚いものが混ざってはいる。

ファシリテーター：

事業ごみと家庭ごみで、何か違うところはあるか。

委員 5：

お金を払って出すという違いもあるし、人の目があるから家庭ごみよりも多少気を使っている気がする。家ではきつとこんな捨て方をしないのでは。

ファシリテーター：

今の話だと、人目があるところでは、みんなもっと分別に気を付けるかもしれないということになる。そこにはどんな違い、境目があるのか。

委員 5

自分ごとか他人ごとかの違いかな。

ファシリテーター：

事業ごみは自分の家ではないから他人ごとだとすると、自分の家のテリトリーは気にしないけど、人のテリトリーは汚したくないということか。

委員 5

会社の集合のごみ捨て場とかは汚したくない。

ファシリテーター：

なるほど。「人の目」「自分の目」というのがどういうものなのか、この会議が終わったら少し考えておいていただきたい。

委員 4：

ごみ捨てには 1 円も払いたくないけれど、事業ごみの処理に毎月 20 万円ぐらい払っている。ごみを置くスペースを借りる経費も含めると、ごみ捨てに年間 300 万円ぐらい払っている。ごみ袋を買うお金も払いたくないので、ごみ袋にはできるだけごみを詰め込んでいる。

ファシリテーター：

市からの説明では、ごみ処理経費として市民 1 人あたり 1 万円ぐらいかかっているとのことだった。また、市民の皆さんからの分別に関する問い合わせが年間 4,800 件もあって、かなりコストがかかっているという話もあった。人の目の話ではないが、自分に何か実害が及ぶと思うと、逆に頑張れるのかもしれない。

委員 4：

アフリカなどには靴を履けない、服も着られないような子供がいる。そういうところにうまく譲り渡せるルートがあれば、積極的に使いたいと思う。日本人は裕福すぎる、幸せすぎるのかもしれない。

ファシリテーター：

委員 7 さんは保育園で働かれているとのことだが、保育園ではどんなごみが出るか。

委員 7

食べこぼしによる生ごみ、製作で作った色画用紙の切れ端、紙おむつなどごみはいっぱい出る。ただ、おむつは全部布おむつに切り替えたので、紙おむつのごみはゼロになった。また、トレーやティッシュの箱などのごみは全て子どもの製作の材料に使っているので、今は掃除で出たごみや、生ごみぐらい。

ファシリテーター：

布おむつって、子育てされた経験のある方からするとどうか。

委員 4：

紙おむつの場合、汚物は便所に流して、おむつは燃えるごみに捨てているが、上下水道代がかかる。布おむつの場合、おむつも洗うのでさらに水道代がかかる。どちらが正解なのかわからない。

ファシリテーター：

色々な考え方はある。例えば電気の話をする、風力発電は自然電力だから環境にいいといわれるが、実は風車の羽根を作って焼却するのに大量の CO2 を出しているという話があって、何が正解かわからない

い。ごみで言えば、コストに着目するのか、コンポストのように喜びを感じることに重きを置くのか、いろんな考え方があって、多分誰も答えは持っていないと思う。だからこそ、皆さんがどう考えるかが大事。

委員 1 :

話を聞いていて、ごみを分別するのはやっぱり面倒くさいと思った。お金がかからなくても労力はかかる。私だったら、分別するかわりに 1 万円払ってもいい。

ファシリテーター :

そういう考えもある。私が昔手伝った会社は、分別も含め全部お金を払って解決していた。

委員 12 :

私はいや。自分が出したごみは自分できちんと片付けるべきだという思いがあるし、ごみを人に見られるのもいや。

委員 4 :

保育園のおむつもいい例。布おむつを使えば環境に配慮していると言えるし、おむつ代も削減できる。でも働く人の負担は増えている。働いている方からすれば「けちだなあ、紙おむつを買ってよ」と思うかもしれないけれど、経営者側からすれば「洗えば済む話だし、環境にも優しいでしょ」となる。難しい。

ファシリテーター :

これは人それぞれの答えがあっていい。正解はないと思う。

委員 7 :

おむつは 1 日 3~4 回ぐらい代えないといけない。紙オムツなら捨てれば良いけど、捨てるときの重さと、集積所に出したことによる臭いがネックになる。布おむつだったら、洗濯代はかかるけど、洗ってしまえば大丈夫。また、紙おむつは結構な値段なので、その分の費用を減らして、子供たちのための他の何かに使える。

委員 11 :

私はおむつを変えるのが苦手なのであまり触りたくないし、紙おむつのままがいいなと思ってしまう。おむつの話からは外れるけれど、私の学校ではノーガページという理念を掲げている。これは、学校では学校で出たごみしか捨ててはいけないというもの。皆さんの話を聞いて、ごみ回収にもお金がかかることに気づいて、ノーガページというのはお金をかけないために、学校がごみを持ち帰らせているんだと思った。でも、学校のごみが減っても、自分の家でごみを出さないといけないのでごみの量は変わらない。また、自分の家では新聞を取っていないので、古紙回収に出すこともないので、学校でもらったプリントやいらなくなったテスト用紙は全部燃えるごみに捨ててしまっている。市の説明で、再利用できる紙類が可燃ごみに捨てられているという話があったが、自分もやっているなと気づいた。学生は紙ごみについて考えるべき。

ファシリテーター：

学校でノーガベージをやっている分、家のごみが増えているというのは、さっきの話と似ていて面白い。

委員 6：

資料には、スーパーやホームセンターで、トレー・ダンボール・ペットボトルなどを回収しているとあるが、実際どれぐらいの方が利用しているのか。

ファシリテーター：

皆さん、使っている人はどれくらいいらっしゃるか。

→委員 12 名中 2 名が挙手

委員 6：

自分は回収場所で勤めているが、自分ではダンボールぐらいしか持っていかない。利用の仕方がわからない、持っていくのが面倒くさいなどの理由で、利用が進まないのかなと思う。ごみを持っていくとポイントがつくようなところは結構利用している方がいるけれど、そのシステムには導入するのに手間もかかる。また、使い方がわかっておらず、汚れたものが入っていたり、他のごみが入っていたり、個人情報がかつたままになっていたりする。

委員 9：

資源ごみを出すとき、なるべくきれいに洗うのが良いと思うが、そのためには水をたくさん使うことになる。ペットボトルは割と簡単だけれど、油やドレッシングの瓶などは、どこまできれいにした状態で出すのがいいのか時々悩む。また私の周りには、あまりにも洗浄が大変なものは、資源ごみではなく可燃ごみとして捨てても良いと認識している人もいる。結局、分別方法自体の周知が徹底されていないのでは。

ファシリテーター：

今の話には 2 つの観点があると思っていて、1 つはリサイクルのために必要なコストがかかりすぎて、実はリサイクルする方が良くないのではないかという話。もう 1 つは、コストの中にはご自身の「面倒くさい」というコストも入っているということ。コストが明確になると、ここまでは自分で頑張ろうとか、自分ではやらないほうがいいということがわかりやすくなる。そういう事実関係は、次回の会議で聞いても良いかもしれない。

委員 3：

それはなかなか明確にできないと思う。それぞれの人の考えでやるしかないのでは。

ファシリテーター：

おっしゃるとおり。そのときに皆さんがどう考えるか、それは自分でやるものだという人もいるし、お金を払って

済ませたいという人もいる。ただ、そこからもう一步踏み込んで、それが前橋市や他の人のためになるのかという視点が入ると、また変わってくる。自分のことだけを考えたらお金を払えばいいだけかもしれないけれど、例えばコンポストの取り組みを広めていけば、自分のためだけにやっているより、もっと前進するかもしれない。

委員 3 :

どう捨てるのが正解なのか、その答えが出なくて困っている人がいっぱいいる。分別の仕方がわからず、最後にはごみ屋敷みたいになってしまう。

ファシリテーター :

それがごみ減量の課題になっているのかもしれない。なるほど。

委員 7 :

どこまでやればいいのか、という思いはある。

委員 6 :

プラスチックの汚れが洗っても落ちなくて可燃ごみに出したり、洋服も本当は衣類として出したいけど、汚れているから出すのをやめて可燃ごみに出したりすることは大いにある。前橋市のルールが分からないけれど、ホッチキスがついた紙も針を取らずに資源ごみに出していいのであれば、もっと楽になる。

委員 4 :

服を捨てるときも、これが溶けるくらいの温度で焼却されるのか、燃え残ってしまうのかも気になる。

ファシリテーター :

燃やしてしまったほうがコストは安いという人もいるし、いろんな考えがある。また、焼却炉の能力などにもよるらしい。

委員 4 :

燃やすと、今度は温暖化の問題も生じる。

## 2. B 班議事録

ファシリテーター：

前橋市の説明の範囲に限らず、自分の生活の中でごみについて感じていることなどを話していただきたい。

委員 1：

もともと高崎市に住んでいたが、高崎は可燃・不燃ぐらの区別しかない。容器包装のプラマーク・紙マークが印刷されていることも前橋に住み始めてから知ったので、意識して見るようにしている。

一人暮らしをしていると、買っておいただけ食べられなくなって食品ロスが出てしまうことがある。

カップ麺の容器や肉のトレーは、軽く洗って汚れを落としてからプラごみとして出してくださいと言われているが、正直面倒くさくて、燃えるごみとして捨ててしまうことがある。なんで洗わないといけないんだろうと思う。ペットボトルとかも洗って捨てるけれど、他の自治体では洗わずに捨てられるところもある。潰して捨てるのと潰さない自治体もあるし、何の違いでルールが変わってくるのか疑問に思った。

委員 2：

私の住んでいる隣保班は、個人世帯のほかにアパートやマンションもある。当初はゴミ出しの日や分別のルールが守られておらず、住民から集合住宅の管理組合にお願いをして、アパートやマンションはそれぞれの建物でごみを集め、一般の集積場は個人の住宅だけがごみを出すことにした。そうすると、ごみがきれいに出されるようになって、今は分別もうまくいっている。

ファシリテーター：

行政がこうなさいと言うより、地域の住民でこうしようと決めた方が上手くいった事例。

委員 3：

肉や魚のトレーなどはかさばるので邪魔だという話を母から聞いた。前橋市がどうにかするのは難しいけれど、例えば道の駅で売るとかは、市でどうにかしようと思えばできるのかなと思った。

もう1つ、学校で配られるプリントがすごく多い。お知らせはアプリで通知されることが多くなったけれど、授業で使うプリントは紙で配られる。でも使わないものがすごく多くて、それがファイルに溜まっていて捨てるということが多い。古紙のリサイクルボックスが身近な場所がないので、駅やコンビニにリサイクルボックスを置いてくれたら、リサイクルが身近になると思う。

委員 4：

アメリカに帰国したときに思ったこと。アメリカはアパートがあまりなく、一軒家を借りる人が多い。庭もすごく広いから、生ごみのコンポストを大規模にやっている家が多い。それを日本でやるのは難しいと思うけれど、地域で集めればできると思う。

また、マイストローを持ち歩いて、カフェやレストランへ行ったときに、ストローを断る人がすごく多い。最近カフェでは紙ストローを使うところが多いけれど、紙の味がするので私は嫌い。ストローではなくて、コップのほうを紙にしてほしい。

ファシリテーター：

マイ箸、マイ弁当箱とか色々な取り組みが進められてきたが、知らないうちに元通りになって、また違う取り組みが始まっている。何のためにこの取り組みをするのかが、なかなか理解されていないと思う。

委員 5：

ごみのアプリはわかりやすいと思うけれど、かっちりしていてあまりおしゃれではないし、かわいくない。気軽に使える、LINE のようなシンプルなデザインだと、かわいいし使いやすいし良いと思う。

また、紙パックのデザインにもはっきり切り取り用の点線を書いてしまえばわかりやすいと思う。

ファシリテーター：

アプリなどを作っても、使われないと価値が出ない。行政側には、デザインや使いやすさにはお金がかけられない、予算がつかないという事情もあるけれど、他の自治体では、学校や団体と連携して使いやすいデザインを考える取り組みをしているところもある。そういう話も、今後の会議の中でできたらいい。

委員 6：

私自身は、ごみはほんの少ししか出さない。畑にコンポストを置いているので生ごみも基本的に捨てないし、パックに入ったものやペットボトルも極力買わないようにしている。でも、外に出ている子供の家族が帰ってきて一緒に住むと、いきなりごみの量が 3 倍、4 倍ぐらいに増える。原因は過剰包装。何か買ってくると、目当ての物を出すまでに 3 つぐらい包装を開けないといけないうものもある。市でどうにかすることはできないけれど、いつも気になっている。

容器包装に「紙」「プラ」の表示はあるけれど、目立たないくらい小さく書いてあって、気を付けて見ないとわからない。書かなければいけない決まりになっているから書いている感じ。また、例えば油が入っている容器は使い終わっても油がついているからプラごみとしては出せないのに、素材自体はプラスチックだから、「プラ」の表示がされている。表示と分別の実態が合っていない。

汚れたパックは洗って捨てるというルールは承知しているが、洗うことで水資源を使うし、うちは下水道が整備されてないので河川に汚れを流すことになる。きれいにしてプラごみとして捨てるか、そのまま汚れを流さないで可燃ごみとして捨てるか、いつも迷う。

ファシリテーター：

ごみを減らす目的はいくつかあって、行政のコストを減らす目的のほか、地球のためにエコなことをする目的もある。後者に着目すると、ごみを減らさないほうがエコになるから良い、ということもある。

委員 2 :

資源ごみにするために資源を使うことになる。

委員 6 :

ペットボトルをゆすぐぐらいならそこまで環境に負荷はかからないと思うけれど、味付け肉のトレーなど汚れがいつばいつているものを洗うとなると、水も洗剤も使うし、川も汚れるので、洗い流したくない。かと言って、汚れを拭き取ったらティッシュがごみになる。どうしたらいいのかいつも思っている。

もう 1 点、市に何か申請するとき紙で申請しなければならないものが多い。今日の会議資料も紙で配られているが、なにか通知があるたびに紙がたくさん送られてきて、申請するときも紙で申請。マイナンバーカードも作ったのに、申請書や証明書のコピーを郵送したり窓口を持っていったりしなければいけない。今の時代、ネットで申し込めば済むはずなのに、それができない。また、申請に対する返事も紙で届く。それは前橋市でどうかしてほしい。

委員 7 :

私たちの年代になると、デジタルやアプリにとっても疎くなる。私の住んでいるところは、高齢者の 1 人暮らし・2 人暮らしが多いので、皆さん広報で届くごみの収集のお知らせを頼りにごみを出している。

私の近所には、外国の方がたくさんいる。収集のお知らせが日本語だけだと、わからない方もいる。日本語以外のお知らせもあるらしいが、外国の方には市の周知が行き届いていない感じがしている。だから、悪気はなくても、どのごみを何曜日に出すという意識が無いので、日々のごみを毎日 1 つの袋に入れて集積場に置いていかれる。何かうまく情報を発信してもらえると変わってくると思う。

ファシリテーター :

委員 2 さんのお話にあったように、行政が決めた区分けではなく、例えば外国籍の方がいるコミュニティのリーダーと円滑なコミュニケーションを取るなどして、コミュニティ単位で管理をするとうまくいくかもしれない。

委員 7 :

集積場にはごみ如山積みで、車が入っていけないぐらいごみが出る。持って行ってもらえないものがかかり残るし毎日きれいになったと思うとすぐごみが出される。

地域的に子供の面倒を見ている方が多く、紙おむつのごみがかかり出るが、野良猫が来てごみ袋を破ってしまう。おむつを入れる場所があると助かる。

ファシリテーター :

紙かデジタルかという話は、この会議を行う中でも色々な意見が出た。デジタルを使いたい人ばかりではなくて、紙がいい人もいます。あと 50 年ぐらい経てば変わるかもしれないけど、今はどちらも選べるようにするのが最善だと思っている。今回の会議でも、アンケート等は基本的に携帯から回答してもらおうが、紙で書きたい人には紙をお渡しするなど、臨機応変に対応する。

委員 8 :

手間がかかるというデメリットがあるから、ごみを分別したくないと思ってしまうので、分別にメリットを感じられるようにできるといい。友達はメルカリで要らない物を売って、お金に換えている。そのつもりはなくても、結果的にごみを減らすことになっている。

委員 9 :

マクドナルドではカップのふたがプラスチックなので、それを紙にすれば結構ごみが減るのではないかと。旅行に行ったらパンフレットなどをもらうが、表紙と裏表紙の間に白紙のページが入っている。たまにたくさん入っているものもあるので、それも減らせるのではないかと。

高校は可燃ごみと不燃ごみの分別がすごく厳しい。分別を間違えると、先生が見つけてくる。でも、小中学校だと少し意識は低い。捨て間違えてもあまり厳しく言われなし、ごみの分別方法などを教えてもらう機会もない。小中学校でそういうことを教えてもらえる環境があるといい。

委員 10 :

今日集まっている皆さんはごみに関する意識が高いように思うが、捨てる前に資源ごみを洗ったり、古紙をリサイクルに出したりという作業は、周りから称賛されることもない、個人の努力頼みになっている。せっかく「さんあーる」というアプリがあるので、資源ゴミの日を集積場に行くだけでポイントがたまるようにするとか、何でもいのでメリットを設けられるといい。また、この自分ごと化会議だけでなく、アプリ上でもアンケートを取って、意見を募ってもいいのでは。

この機会に、自分の家のごみにどういうものがあるか調べてみたら、紙が多い。紙の中でも、チラシが多い。自分が絶対に使わないような店のチラシが入っていたり。これは企業の宣伝活動だからどうにもならない部分だけれど、何かしらのツールを使って発信するようになるまでのちょうど過渡期かなと思う。

学生の方に聞いてみたいが、学校で古紙回収は行っていないのか。

→ (委員 3) 古紙回収はしていないので、紙は可燃ごみとして捨てている。また、学校では、持って行ったお菓子の包装などは捨てて良いけど、ペットボトルは持ち帰っている。

委員 10 :

学生時代に置かれている環境によって、その先の意識は変わってくると思うので、学校の協力を得るのは大切。私は東京出身だけど、学校では古紙回収があった。それがあかないかで考え方も変わってくるし、古紙回収があるだけでも相当ごみが減るのではないかと。

ファシリテーター :

おっしゃる通り、教育はすごく重要。引っ越ししたりして制度が変わったときに応用が効かなくならないよう、そもそもどうして分別が必要なのかなど、根本的なことを理解したうえで、前橋市はこうなんだということが学べるといい。

### 3. C 班議事録

ファシリテーター：

前橋市の説明を聞いて率直にどう感じ、どう受け止めたか？

委員 1：

前橋市の説明は良く分かった。課題について個人としてそれぞれ感じている事や受け止め方は違うと思う。

委員 2：

1 人ひとりの意識改革が必要だが、PR をしなければ難しいのではないか？

ずっと前橋で暮らしていれば分かるが、外国の人や市に引っ越して来た人にはごみの分別や収集が分かりづらいのではないか？

日本語とか漢字は分かりづらい。外国人も住民なので、絵での説明があると誰でも分かりやすい。

委員 3：

この会議の参加者は意識が高くごみの分別とかの心がけできる人が集まっていると思うが、市民全員を広報だけで意識改革するのは難しいと思う。

私はディスポーザーで水を出しながら粉碎して直接流している。前橋市はディスポーザーの助成を行っているのか？外国人も多くなっているし、既存にある集合住宅は無理だが、大家さんに助成するとかあるのではないか？元からディスポーザーがついていれば負担がなくていい。

→（前橋市）元から設置されているディスポーザーは補助対象外。電動（乾燥）生ごみ処理機は購入費の半額で 1 万円を限度に補助している。

→（委員 1）補助を受けたことがある。乾燥する電動のもの。良い取組みだと思った。

委員 3：

高崎と比べると前橋はごみの分別が面倒臭い。スーパーのお肉のプラトレイをいちいち洗うのが面倒。お肉の買い方もビニールで買って、そのままジップロックに入れて冷凍する。プラごみをそもそも、もちたくない。あるから洗って、拭いて、再利用することになる。汚いものを触ったり洗ったりしたくない。最初からプラごみを出さないかと思って、この会議に参加している。

アピールしても、人間は自分に甘いから、分別しなくなる。シングルなので、ごみの作業がしんどい時は子どもにお金を払って分別を頼んでいた。それは理不尽なことだけど、ごみの分別をしないと大変なことになるという意識があるからここに参加している。自分がやっていることを他者に強要するのは難しい。理想論だ。現実としてできるのは行政が予算を確保して、分別しやすいシステムを作ることだ。

市内で行政が試験的に特区を作って、生ごみを減らすシステムを構築してみるとか。それでどれだけ減るのか調査する、とか。

委員 4 :

ごみ分別は頑張ってやって欲しいと伝えるのは難しい。PR はしていると思うが、気づかない。そもそもごみが出ない仕組み、プラを使わない仕組みが作れると良い。お肉をプラスチックのトレイではなくジップロックで売っているお店もある。無理なく取り組めることが大事なので、事業者、売り方でも工夫、配慮できるのではないか？しかし、メリットがないと導入して貰えないという問題がある。そもそもごみがなければ外国人が困ることもない。

委員 5 :

アプリの話が出ているが、問い合わせしたい時は、書いてないことを聞きたい。対面で聞くと印象に残る。生ごみの段ボールコンポストの無料配布について知っている人が少ない。コンポストで処理したものの、具体的な活用方法は何かあるのか？コンポストでできた堆肥の使い道が楽しめる、やること自体が自分で楽しめるが良い。子どもにも分かり易いと良い。

ごみを減らせ減らせと言われるだけでは厳しい。今の人は忙しいので、ワークショップとか、簡単な取組みでできて、誰にでも分かるように体験できるようにして欲しい。

前橋市 :

コンポストの無料配布を行ったこともある。コンポストのイベントを総合運動公園でやった。シェアリングというイベントなどでブースを出している。分別釣りゲームなどのコンテンツもある。年に数回実施している。

ファシリテーター :

体験の場はあるものの、それ自体が知られていないことが問題。

委員 5 :

土（堆肥）に戻したものをどう使うのか？活用方法は？畑を持っている人はどのくらいいるのか？集合住宅に住んでいる人はどうするのか？使える場所がない。小さな鉢植えを育てるとか、活用事例を提示すると良い。使う人が増えると思う。学校とかで子どもでもできることもあると思う。宿題ではなく、楽しみながらできると良い。

コンポストの堆肥で作った作物が食べられるとかできると良い。環境問題と合わせて、何でコンポストが段ボールなのか？背景がとかが分かると良い。興味を持てば、他のプラスチックにも興味できて、年代を超えて意識が変わるのではないか。

委員 6 :

コンポストに興味がある。野菜を貰って、持て余した分をそのまま入れた。そこから芽が出ることがある。食育に繋がるように学校で教えるのは良い。ごみからの再生を見せるのは良い教育になる。

大学生の娘は、高崎は分別しなくて良いなと言っていた。ルールだからみんなでやろうと言っている。ごみの分別は面倒。子どもの分もやるのも面倒。年を取ったら更に大変だと思う。みんなに分かり易くして、ごみ

を減らして、良い環境にもつながる。

最終処分場とかの土地の確保とか、問題は山積みだ。今日の資料から学ぶところがあった。興味がない人に興味を持って貰うことが大事だと思う。

委員 7 :

興味がない人にどう興味を持たせるのが良いのか？以前、前橋市で出前講座をやって貰っていた。5人以上で申し込めば、無料で以前はやっていただけ。自治会や育成会に協力してもらい、出前講座をやってもらうのが良いのではないかな。

前橋市 :

今も生涯学習課で受け付けて出前講座をやっている。環境美化推進委員に呼ばれて出向いて説明することもある。

委員 7 :

自治会の役員をやっている。自治会入らない人もいて地域の関係が希薄化している。自治会の行事に出られない。ごみ集積場の問題も関係してくる。

委員 8 :

ごみの問題に全く興味が無い人は実は少数だと思う。興味があっても仕事が忙しくて、ごみ関係のイベントがあることを知らない。学校でSDGsを含めて教育は受けている。マイナンバーカードのように、ビラを配るなど、日常生活の中で知る機会が必要ではないかな。

コンポストで出来た土を市が回収し有効活用したら良いのではないかな。

委員 1 :

高齢になるとごみの分別や削減など、やりたくてもできなくなる。そういった人にサポートが必要なのではないかな。

ごみの削減はモチベーションが必要で、頭で理解することと行動することは別なのではないかな。